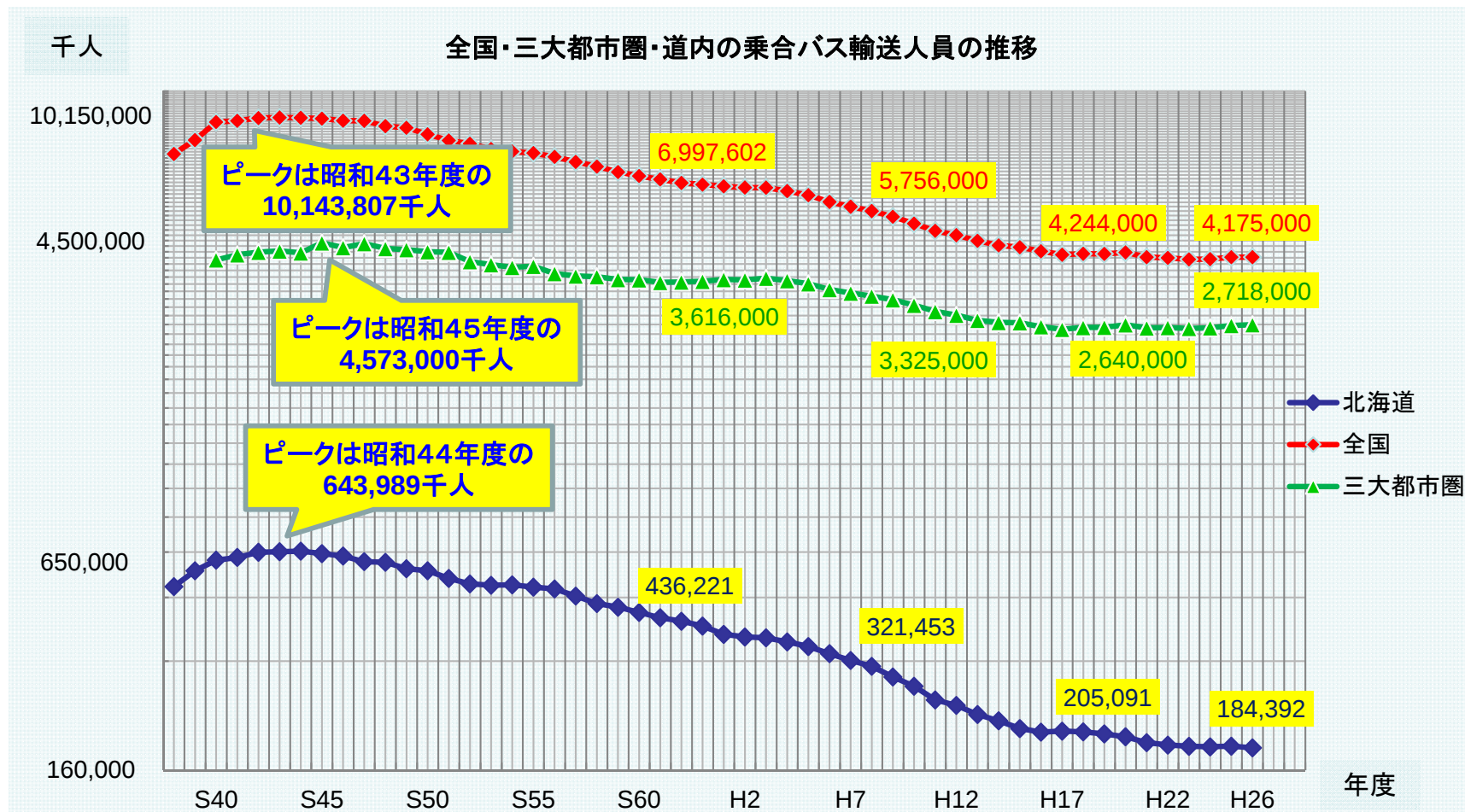


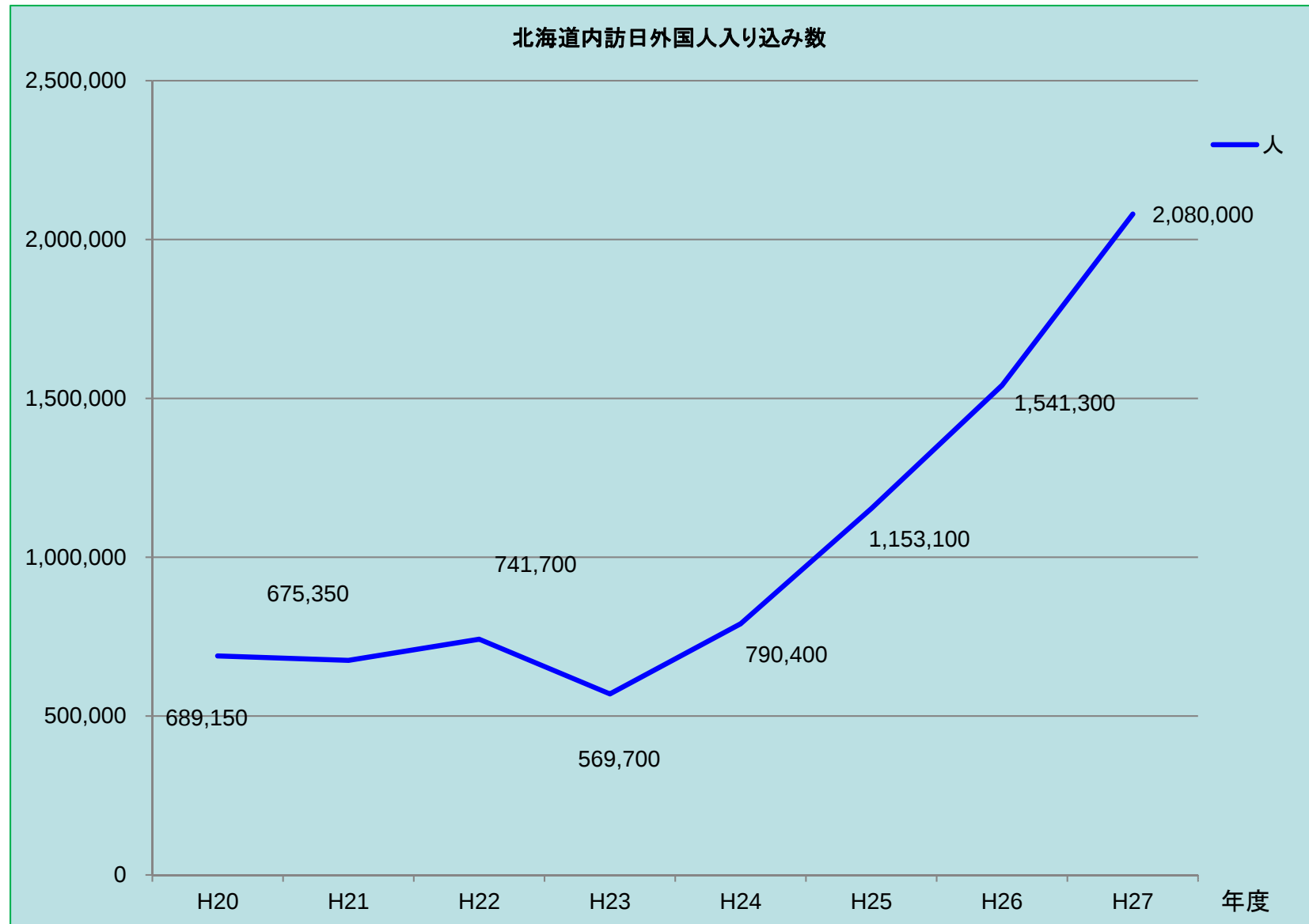
道内バス利用の低迷

平成26年度全国乗合バス輸送人員をピーク時(昭和43年度)と比較すると58.8%の減。三大都市圏については、平成26年度輸送人員とピーク時(昭和45年度)と比較すると40.6%の減。対して、北海道については、平成26年度輸送人員をピーク時(昭和44年度)と比較すると71.4%の大幅な減少を示している。



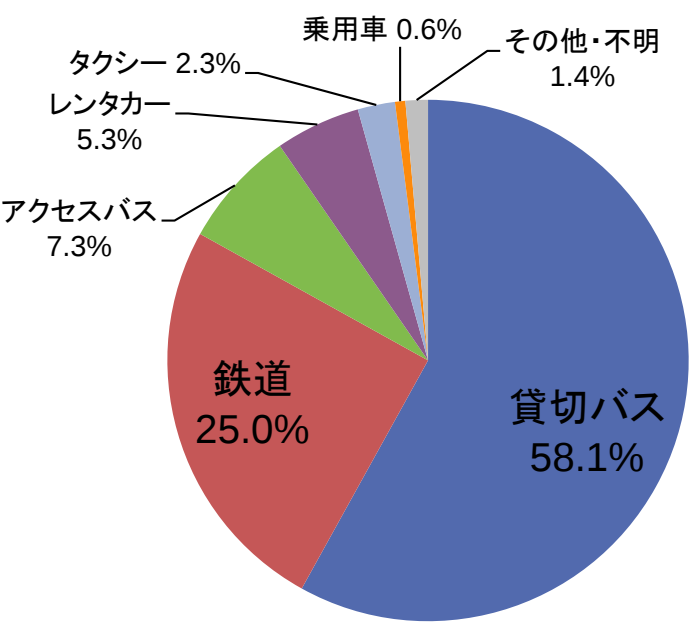
道内訪日外国人入り込み数の推移

訪日外国人来道者数は平成20年度以降急激な伸びを示している。



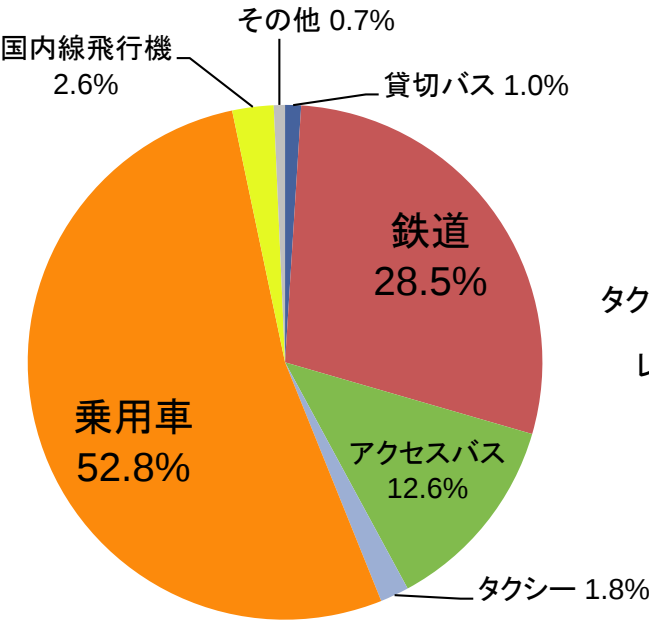
出典：北海道経済部観光局

【新千歳空港へ向かうため最後に利用した交通手段の割合】

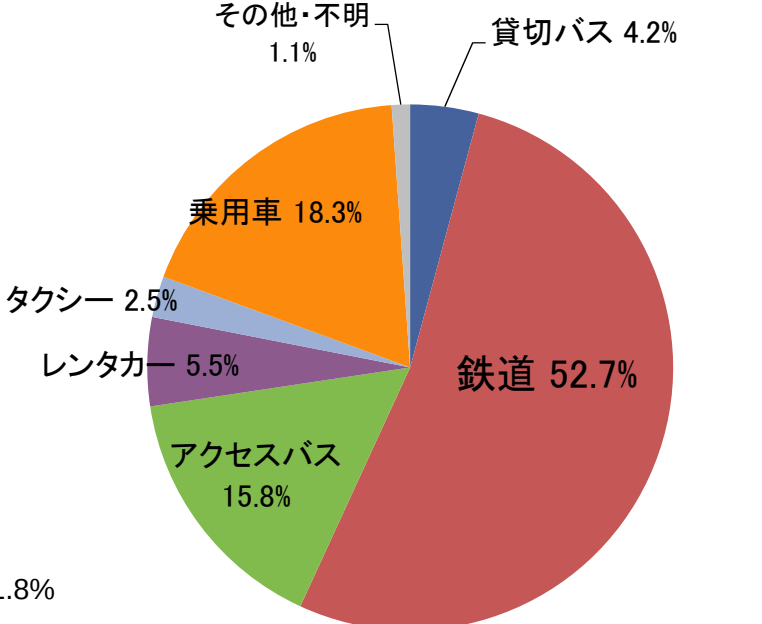


＜外国人(国際線)＞

※平成27年度国際航空旅客動態調査より作成



＜日本人(国際線)＞



＜国内線利用者(日本人・外国人)＞

※25年度航空旅客動態調査(隔年調査)より作成

出国外国人の空港への最終アクセス交通手段(平成27年度)

		新千歳	旭川	函館	成田	関西	中部	羽田	仙台	広島	福岡	那覇
私的交通	貸切バス	58.0	93.3	96.0	10.6	13.3	27.3	4.7	31.0	32.6	28.9	24.6
	レンタカー	5.3	0.5	0.0	0.6	1.0	2.5	0.8	1.8	4.2	3.9	20.6
	自家用乗用車	0.6	0.3	0.1	3.8	2.0	8.6	2.6	14.0	12.1	2.3	2.5
	ハイタク	2.3	2.6	0.4	3.4	3.3	5.2	10.6	7.4	6.9	17.3	15.9
	小計	66.2	96.7	96.5	18.4	19.6	43.6	18.7	54.2	55.8	52.4	63.6
定時定路線交通	空港直行バス	6.9	1.8	0.3	34.7	27.6	12.5	26.3	8.1	40.7	18.1	9.5
	路線バス	0.4	1.5	2.3	0.1	0.2	0.8	1.0	0.2	0.9	3.2	0.7
	鉄道・地下鉄	25.0	0.0	0.0	23.5	35.0	27.1	29.8	24.9	0.0	23.5	0.0
	モノレール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9	0.0	0.0	0.0	23.5
	小計	32.3	3.3	2.6	58.3	62.8	40.4	74.0	33.2	41.6	44.8	33.7
その他		1.5	0.0	0.9	23.3	17.6	16.0	7.3	12.6	2.6	2.8	2.7
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位%

その他は国内航空、新幹線、不明等

那覇空港よりは低いものの全国的に見ても高い数値

私的交通、特に貸切バスの比率が高い。

新千歳でも三大都市圏、他政令都市、沖縄と比較して高い数値だが、旭川、函館については極端に高い数値

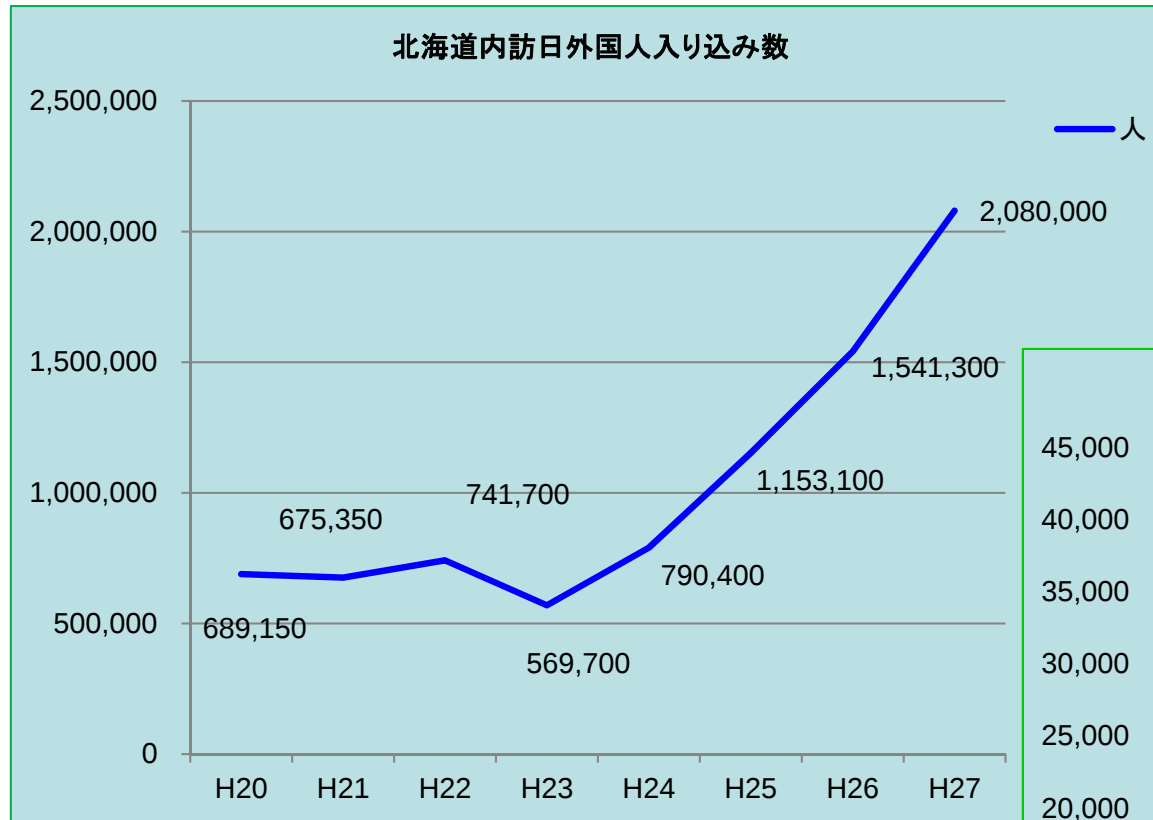
道内においては比較的高い数値だが、三大都市圏、他政令都市、沖縄と比較すると低い数値

全国的に見て極端に低い数値

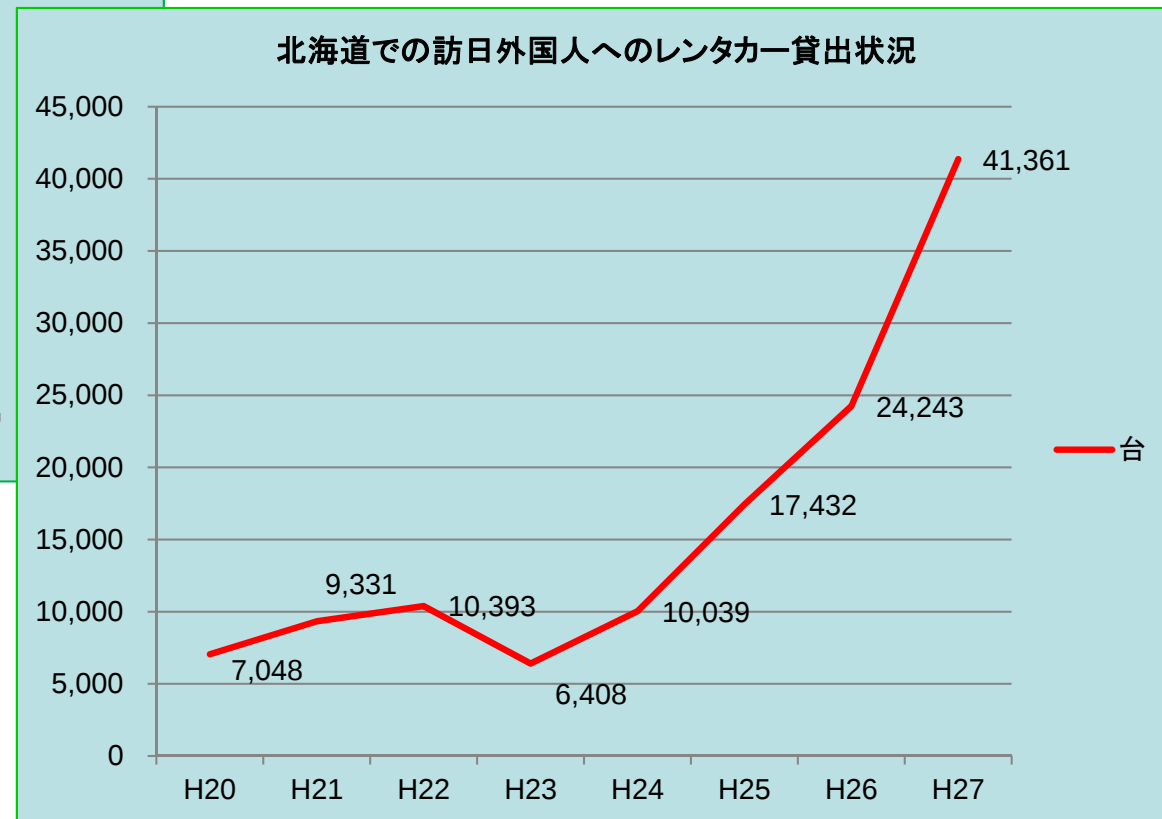
※平成27年度国際航空旅客動態調査より作成

道内外国人レンタカー利用の増加

平成27年度の訪日外国人来道者数は平成20年度比で301.8%、同期間における道内訪日外国人へのレンタカー貸出件数は来道者数の伸び以上の586.8%に達している。



出典：北海道経済部観光局



出典：北海道地区レンタカー協会連合会

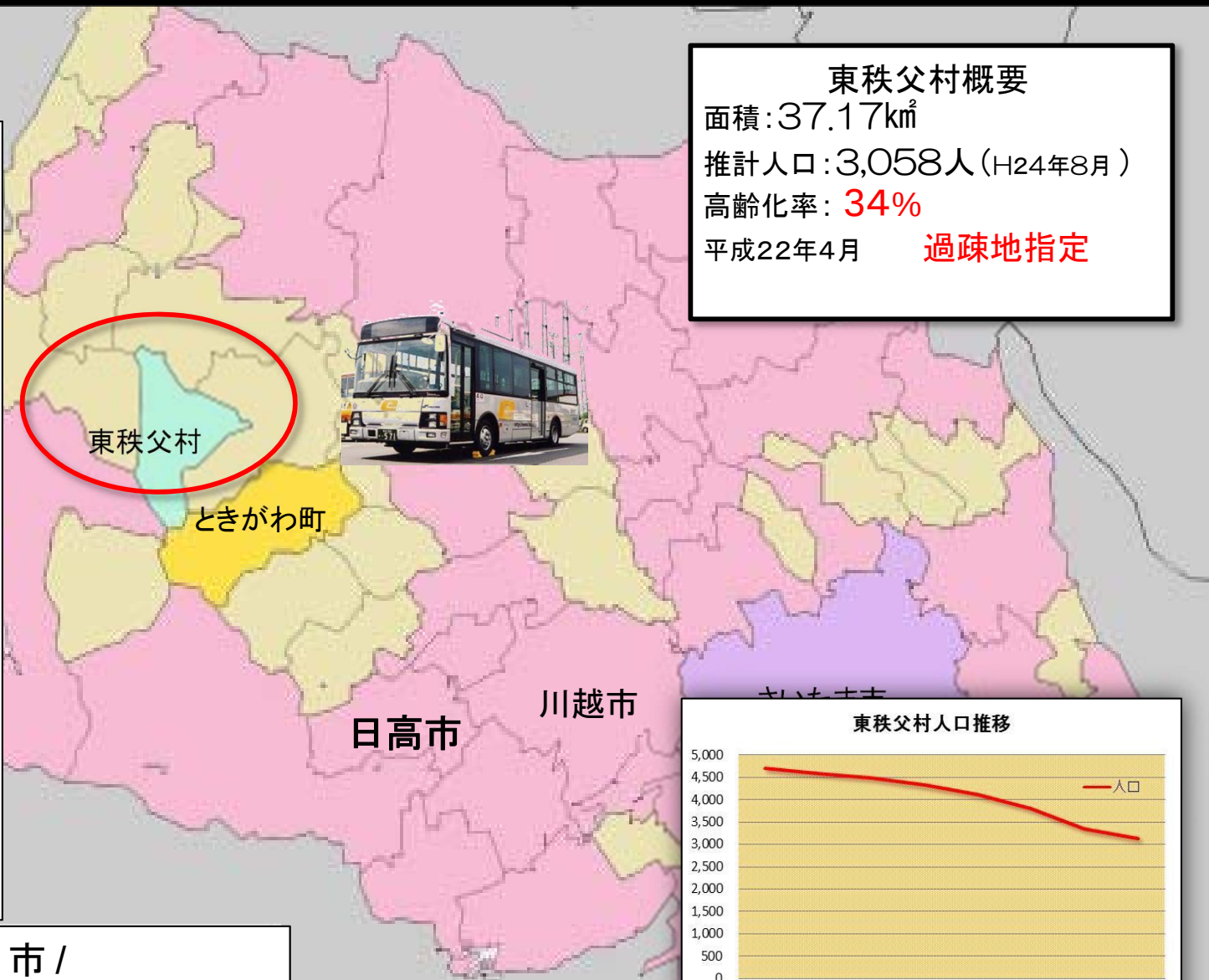
埼玉県東秩父村 包括政策によるバス活性化

ハブ＆スポークと小さな拠点づくりによる活性化モデル

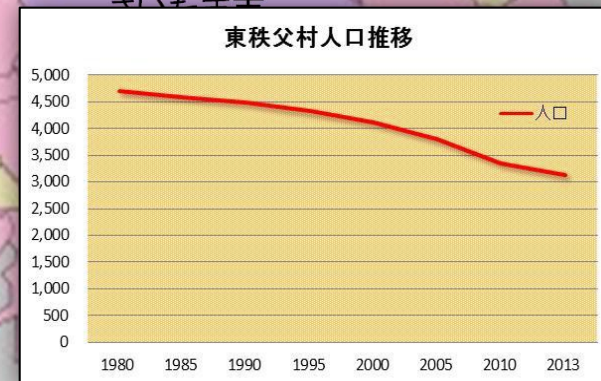
消滅可能都市896自治体中 ワースト20位

1位 南 牧村	89.9	群馬	25位 若桜町	81.3	鳥取
2位 川 上村	89.0	奈良	25位 大月町	81.3	高知
3位 今 別町	88.2	青森	28位 南幌町	80.9	北海道
4位 奥 尻町	86.7	北海道	29位 曾爾村	80.6	奈良
5位 木古内町	86.5	北海道	30位 新上五島町	80.4	長崎
6位 神 流町	85.5	群馬	31位 大豊町	80.2	高知
7位 タ 張市	84.6	北海道	32位 豊能町	79.8	大阪
8位 歌志内市	84.5	北海道	33位 中 泊 町	79.7	青 森
9位 松 前町	84.4	北海道	34位 深浦町	79.3	青森
9位 福 島町	84.4	北海道	34位 笠置町	79.3	京都
9位 吉 野町	84.4	奈良	36位 三笠市	79.0	北海道
12位 下仁田町	83.7	群馬	36位 豊富町	79.0	北海道
12位 那 賀 町	83.7	徳 島	36位 愛南町	79.0	愛媛
14位 室 戸 市	83.4	高 知	39位 紀美野町	78.8	和歌山
15位 粟島浦村	83.2	新潟	40位 奈井江町	78.6	北海道
16位 外ヶ浜町	83.1	青森	41位 すさみ町	78.5	和歌山
17位 南山城村	83.0	京都	42位 上砂川町	78.2	北海道
17位 高野町	83.0	和歌山	43位 鮭川村	78.1	山 形
19位 東吉野村	82.7	奈良	43位 奥多摩町	78.1	東京
20位 東秩父村	82.6	埼玉	45位 小谷村	77.9	長野
20位 神 山 町	82.6	徳 島	45位 三好市	77.9	徳島
22位 妹背牛町	82.1	北海道	47位 七戸町	77.8	青森
23位 早川町	82.0	山梨	48位 上ノ国町	77.7	北海道
24位 能勢町	81.4	大阪	49位 津和野町	77.5	島根
25位 能登町	81.3	石川	50位 栄 町	77.3	千葉

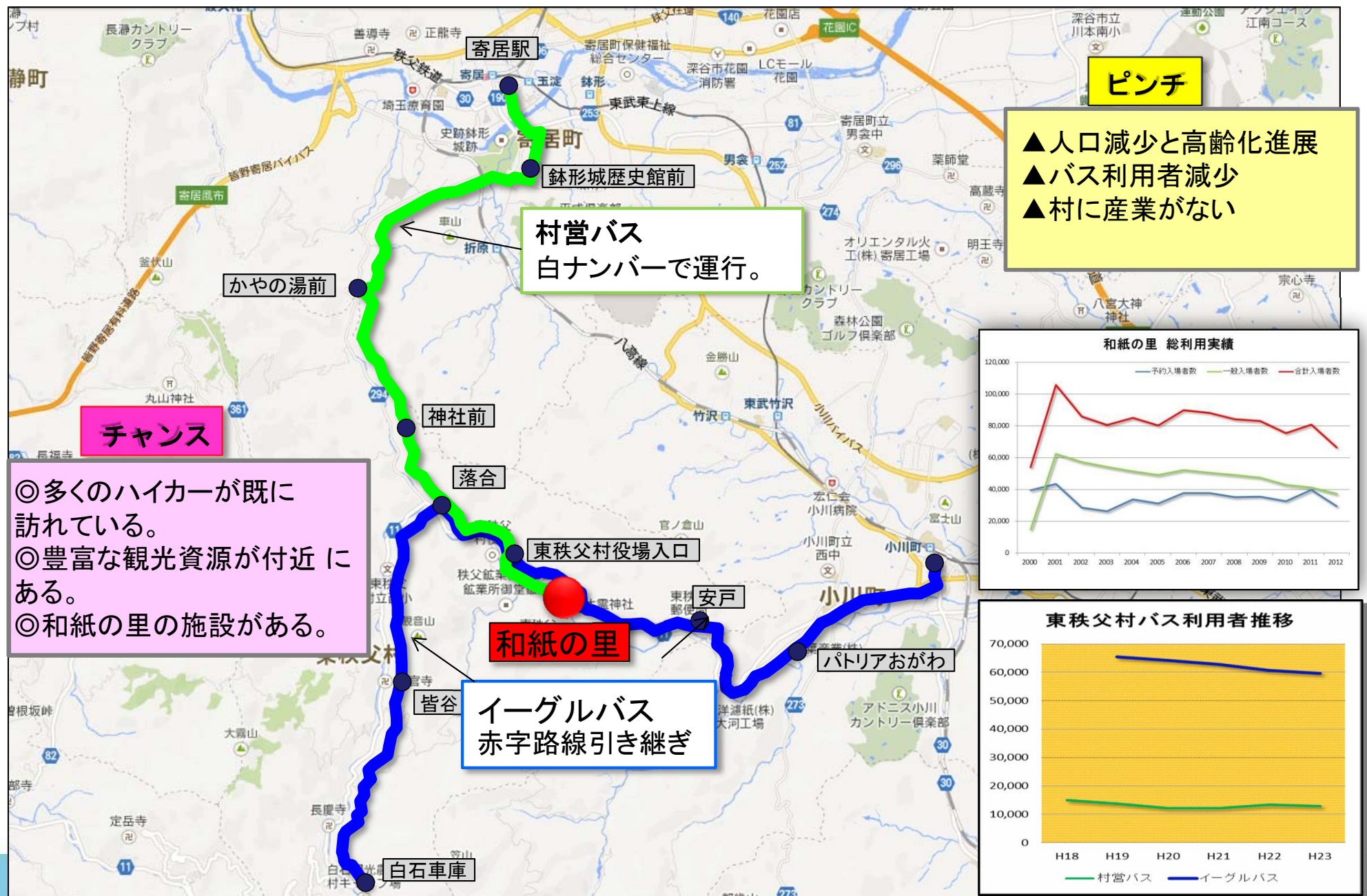
	— 政令指定都市 /		— 市 /
	— 町		— 村



東秩父村概要
 面積: 37.17km²
 推計人口: 3,058人 (H24年8月)
 高齢化率: **34%**
 平成22年4月 **過疎地指定**



東秩父村 バス路線現状(2014年8月現在)



和紙の里ハブ化構想



地場産業振興

和紙、こんにゃく、水、野菜等の東秩父村の独自の素材を活かした観光客向けの飲食、地場産物品、サービスを事業化

村の体験施設 和紙の里をハブバス停留所としここに 村営バスとイーグルバスを統合再編してすべてのバスを 結束させ運行を最大効率化する。

ハブに住民の生活機能の施設と観光客のための 観光施設を導入することにより、住民、観光客が和紙の里に集まり、村の新たなにぎわいの場とする。



生活交通確保維持

村営バスと民間バスを統合再編し、和紙の里を施設機能を備えた第二世代ハブ & スポークバスセンター



都市と農村交流

ウォーキングのメッカとして多いハイカーを和紙の里への取り込みと東秩父村の自然を誰にでも体験できるシャトルバスの運行で手ぶらで来る新たな観光客を創造し観光客



生活機能確保

住民の日常買い物不便を解消し、観光客の滞在と経済効果を実現する買い物施設建築。

観光
誘致

和紙の里をハブとする観光資源へのアクセス

今までマイカーでしか行けない
季節の花や牧場等の観光資源に
デマンドでアクセスすることで、
電車による観光客の取り込みが
出来る。

和紙の里から
季節ごとの 観
光デマンド

小川町駅

駅から和紙の里
アクセス充実

東京

外客(観光客) を取り入れる。

平日の朝

まばらな利用者
通勤風景



平日の朝は少ない
住民の通勤利用者も
週末と祭日はハイカー
でバスは満杯となる。

土日祭日の朝



車内はハイカーで満員



ハイカーが乗り切れず続行便を用意（小川町駅）

定年になってもバス利用を止める訳ではない



通勤バスに乗らなくなった元気な退職者は観光地へ行ってバスに乗る。
その人数は毎年増加

高齢化による定年退職者の増加によって通勤バス利用者は年々減少



- スマートフォンを活用したバスの運行状況システム（バスロケ）は運行本数の少ない地域では、より必要性が高く、また、特に冬季は時刻どおりにバスが来なく、観光客が寒いバス停でバスを待つことから、利用者利便の観点からは導入を早急に検討すべき。
- 現状ＨＰなどによる検索システムは、バス停名称の表示しかしておらず、目的地へ行くにはどこで降りるか分かりづらいことから、目的地検索機能を有するシステムが必要であり、また、訪日外国人が使用できるよう多言語化されたものも必要。

課題

市町村・地域：全道地域

時期：平成２８年以前

- バス運行本数の少ない地域が存在、また、冬季にはバスが時刻どおりに来ないため、寒いバス停で観光客がバスを待つといった状況にある。
- 観光地等の目的地へ行くために、現状ＨＰなどの検索システムでは、バス停名称の表示しかしておらず、どこで降りるか分かりづらいことから、目的地検索機能を有するシステムが必要である。
- また、訪日外国人が使用のできる多言語化や地図検索機能の対応が求められている。

取組方法

取組主体：北海道運輸局、北海道バス協会、道内乗合バス会社

開催時期：平成28年3月

実施内容：運輸局とバス協会共催の「バスロケ等情報提供高度化事業に関する検討会」を開催。

取組の効果

- ◆旭川電気軌道と道北バスは、目的地検索機能を有するバスロケシステム「バスキタ！」について昨年11月からの実証実験を経て、本年４月から本格実施。
- ◆また、道東・道北のバス事業者11社が目的地検索機能を有する「もくいく」を順次導入。このうち十勝バスにおいて、同システムを活用したバスロケを2月から実施。
- ◆ふらのバス、北海道拓殖バス、北都交通も28年度内にバスロケを導入。
- ◆その他の地域においても、実証実験を実施する等バスロケ導入の動きがみられる。（恵庭市・千歳市）
- ◆28年度内に札幌市がバス等公共交通の検索システム「駅バスナビ」を多言語化等へ対応のため改修中。



「バスキタ！」



「もくいく」

今後の方針：

自治体・バス事業者・システム開発会社等から各地で実施した実証実験等における利用状況等の結果データを収集・分析し、その結果等を「バスロケ等情報提供高度化事業に関する検討会」等を通じ、自治体・バス事業者等に周知することにより、システムの一層の普及促進を図る。

バスロケーションシステム（バスキタ！）の使い方

近隣バス停や乗り場位置表示



ユーザーの現在地に近いバス停を表示

バス停の乗り場（ポール）位置を表示

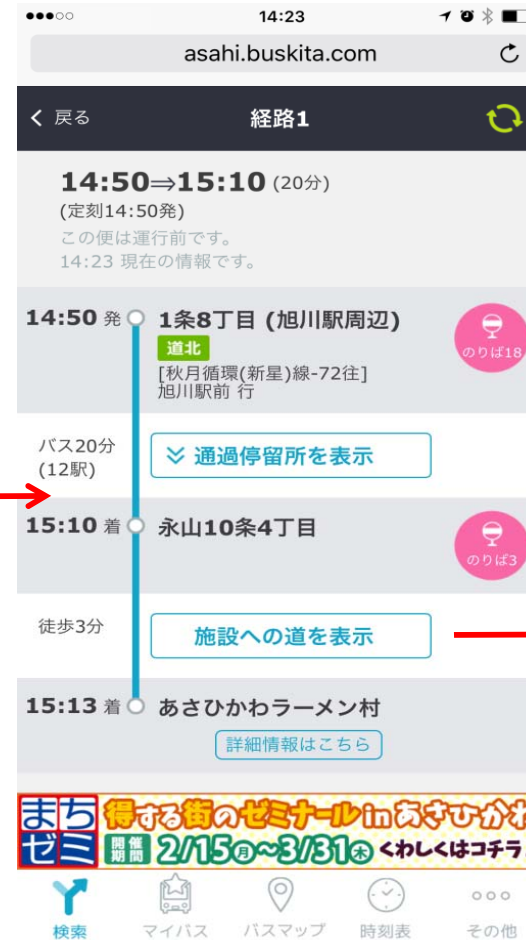
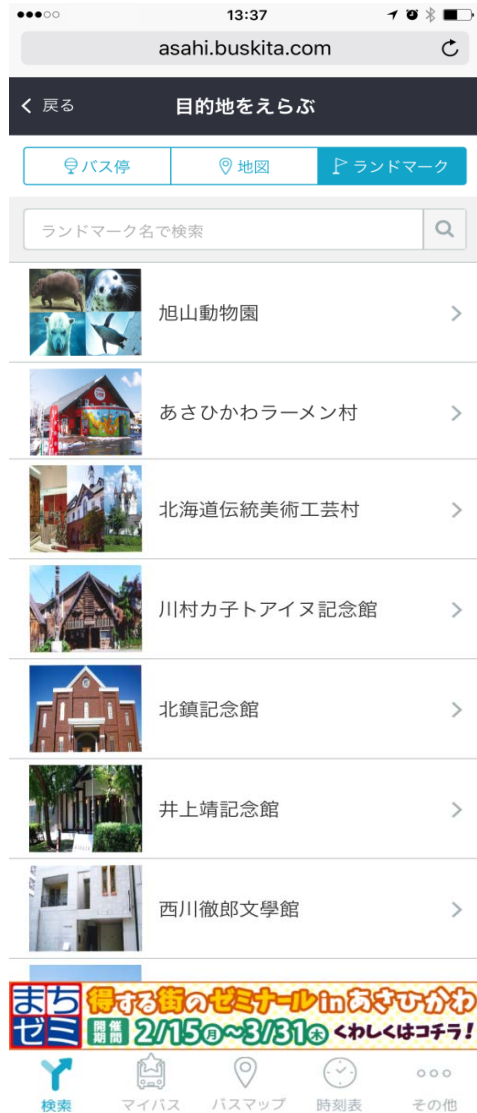
観光施設、医療機関、商業施設等への行き方案内



14

バスロケーションシステム（バスキタ！）の使い方

観光施設等の詳細情報表示



施設の詳細情報を表示

バスロケーションシステム（バスキタ！）の使い方

運行状況・遅延情報案内



出発地、目的地を選択 ⇒ 運行状況表示

遅延時間を考慮した出発予定時刻、到着予定時刻を表示

バスロケーションシステム（バスキタ！）の使い方

バス現在地表示、バリアフリー車両表示



バリアフリー車両は車いすマークを表示

地図上にバスの現在地を表示

1秒間隔のバス位置データを、10秒ごとにサーバへ送信し、

リアルタイム更新

バスロケーションシステム（バスキタ！）のデジタルサイネージ

デジタルサイネージ:設置箇所

- 市立旭川病院
- ひがしかわ「道草館」
- 旭川観光物産情報センター
- 北洋ビル（4条9丁目）
- 東神楽バスセンター
- 道北バス旭川駅前通り営業所
- 旭川空港
- 富良野バスターミナル
- Feeeal旭川
- ツルハ 旭川買物公園通店
- イオンモール旭川駅前
- アモールショッピングセンター
- コープさっぽろ 4条通り店
- セイコーマート 神居6条店
- セイコーマート 旭川北門町店
- セイコーマート 旭川1条通店
- イオン春光店
- イオン永山店
- セイコーマート永山7条店
- コープさっぽろ 春光店
- コープさっぽろ シーナ店
- セイコーマート永山7条4丁目店

計22箇所

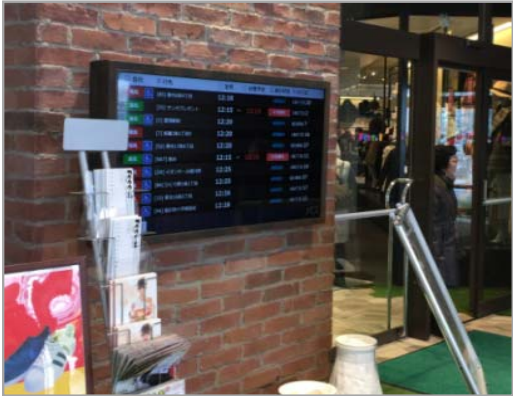
内、●は当局の調査事業により設置

会社	行先	定刻	出発予定	運行状況	のりば
道北	[28] 旭川駅前	15:45		通常運行	旭川駅前 4
道北	[550] 市役所前	15:45		通常運行	1条7丁目 11
道北	[81] 層雲峡	15:45		通常運行	旭川駅前 7
電気	[6] 旭川駅	15:45		通常運行	旭川駅 5
電気	[94] 東郵便局前	15:45		通常運行	1条8丁目 16
電気	[70] 東神楽バスセンター	15:45		通常運行	旭川駅 10
道北	[62] 永山14丁目	15:45	→ 15:47	2分遅れ	1条8丁目 18
道北	[72] 旭川駅前	15:50		通常運行	1条8丁目 18
道北	[5] 愛別駅前	15:50		通常運行	旭川駅前 7
電気	[24] イオンモール旭川西	15:50		通常運行	1条8丁目 14
道北	[53] 高砂台8丁目	15:52		通常運行	1条7丁目 11
道北	[40] 旭川駅前	15:51	→ 15:52	1分遅れ	1条8丁目
道北	[45] ごりよう公園前	15:53		通常運行	1条8丁目 18
道北	[75] 当麻ヘルシー	15:53		通常運行	旭川駅前 22・23
道北	[45] ごりよう公園前	15:55		通常運行	旭川駅前 25

15:43 郵便局前行, [70] 東神楽バスセンター 行が到着いたします。



市立旭川病院

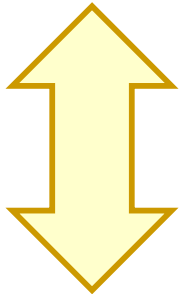


フィール旭川

バスロケーションシステム（バスキタ！）のデジタルサイネージ

バス運行状況					
会社	行先	定刻	出発予定	運行状況	のりば
道北	[62] 永山14丁目	13:38	→ 13:42	4分遅れ	4条9丁目 2
旭電	[41] 旭山動物園	13:44		通常運行	4条9丁目 4
旭電	[94] 東郵便局前	13:49		通常運行	4条9丁目 2
道北	[630] 永山13丁目	13:53	→ 13:57	4分遅れ	4条9丁目 2
道北	[70] 当麻ヘルシー	14:03		通常運行	4条9丁目 2
旭電	[7] 新富2条2丁目5	14:03		通常運行	4条9丁目 2
旭電	[10] 東光16条5丁目	14:05		通常運行	4条9丁目 2
道北	[63] 永山14丁目	14:08		通常運行	4条9丁目 2
13:41 電軌のりば④は、北洋ビルを背にして左側の					

[日本語表示]
施設等に設置したサイネージで
運行状況を表示



一定時間ごとに切替

Bus Service Status					
Bus	Destination	Time	Dep. Time	Status	Bus Stop
ADK	[41] Asahiyama Zoo	13:44	→ 13:45	1 minutes behind	4-jo 9-chome 4
ADK	[94] Higashi Post Office	13:49	→ 13:50	1 minutes behind	4-jo 9-chome 2
Dohoku	[630] Nagayama 13-chome	13:53	→ 13:57	4 minutes behind	4-jo 9-chome 2
Dohoku	[70] Toma Healthy Chateau	14:03		On Time	4-jo 9-chome 2
ADK	[7] Shintomi 2-jo 2-chome 5	14:03		On Time	4-jo 9-chome 2
ADK	[10] Toko 16-jo 5-chome	14:05		On Time	4-jo 9-chome 2
Dohoku	[63] Nagayama 14-chome	14:08		On Time	4-jo 9-chome 2
ADK	[71] Medical University Hospital	14:08		On Time	4-jo 9-chome 4
13:44 The bus bound for [41] Asahikawa Zoo					

[英語表示]
外国語（英語）表示に対応

- ブロック連絡会において、「都市間バスの利便向上」の課題が提起され、訪日外国人旅行者が活用できる都市間バスの周遊バス導入の可能性を探るため、27年度、調査事業として、実証実験を実施。
- 28年度、27年度事業の課題や問題点の解決に向けて、乗合バス会社を中心に引き続き、周遊バスの実証運行を行うこととなった。

課題

市町村・地域：道央地域

時期：平成28年2月～3月

- 27年度調査事業は、準備に相当数の時間と労力を要したことから広報活動を十分に進められなかったこと、さらに、販売期間も短かったことから、販売枚数が伸びなかった。
- 一方、アンケート結果によると、事業内容自体への評価は高く、また、利用者からは継続の声が多かったことから、訪日外国人旅行者のニーズは高いものと思料される。

取組方法

取組主体：乗合バス事業者7社・北海道バス協会・北海道運輸局
取組時期：平成28年7月12日

- 「第4回都市間バスの周遊バスに関する検討会」において、27年度の調査事業を報告後、バス会社側から準備・実施期間を長めに取ったうえで、事業を継続することが提案。
- 検討・協議の結果、今後はバス会社が主体となり、交通サービス利便向上促進事業を活用して、実証運行を継続することを決定。
- その後、27年度調査事業における実施方法を踏襲したうえで、周知方法や販売方法を改善して、実施。

取組の効果

1. 販売期間：平成28年11月1日～平成29年3月27日
2. 対象路線
 - ①札幌及び新千歳空港発着の非予約制の都市間バス路線
 - ②札幌市内特殊区間及び小樽市内均一区間
 - ③その他郊外路線の一部
3. 周遊バスの種類
 - ①5日券 大人7,500円、小人3,750円
 - ②3日券 大人4,500円、小人2,250円
4. 販売箇所
新千歳空港、札幌駅等の6カ所
5. 販売対象
訪日外国人旅行者

予約サイト



- 海外向けWebサイトの中に、本周遊バスの事前予約システムを開設し、訪日に先立ち、本周遊バスの利用の検討ができるようにした。

- J N T OのHPに掲載
- 関係各地の観光協会のHPで紹介
- エージェントが海外サイトで紹介

今後の方針： ○実証運行の結果から、本格実施に向けた課題や、今後の対応方策等について検証を行う。

 国土交通省
北海道運輸局

(タ) = ターミナル

【使用路線略図】

【停留所凡例】

- 両方向とも乗降可
- 起終点
- 札幌発は降車・
札幌行は乗車のみ
- 札幌発は乗車・
札幌行は降車のみ



別紙

※ 札幌市内特殊区間とは、札幌駅を起点とした運賃210円又は240円の均一区間をいう。